



名刺管理アプリ 「pew」

名刺管理アプリ「pew」 マニュアル

目次

1. 名刺の登録(撮影とデータ化)	3
1.2 名寄せについて	4
2. 登録情報の活用アクション	5
3. 名刺データの管理メニュー	6
4. 検索・絞り込み機能	7
5. システム設定とkintone連携	7
6. kintoneからの登録・編集	8
7. カスタムフィールド	9

1. 名刺の登録(撮影とデータ化)

アプリのカメラ機能を使用して、紙の名刺をデジタルデータとして登録します。

1. カメラの起動: ホーム画面右下の黄色いカメラアイコンをタップします。
2. 表面の撮影: カメラのガイド枠に合わせて名刺を配置し、シャッターボタンを押します。
3. 自動読み取り: 撮影後、AIが自動でテキストを解析し、氏名、会社名、電話番号などの項目に振り分けます。※手入力により修正が可能です。
4. 内容の確認・編集: 読み取られた内容を確認します。誤字がある場合や、「備考」欄に追記したい場合は、各項目を直接タップして編集してください。
5. 登録: 画面下部の登録ボタンをタップして登録を完了します。



※名刺画像の2枚目以降の撮影に関しては、画像3のカメラボタン押下により撮影が開始されますが、2枚目以降はOCR判定対象外ですのであらかじめご了承ください。

1.1 登録できるフィールド一覧

【ユーザー様からも確認ができる情報(公開・表示項目)】

氏名 / 氏名カナ / 会社名 / 会社名カナ / 部署名 / 役職 / 郵便番号 / 住所 / 電話番号 / 携帯番号 / ファックス / メールアドレス / ホームページ / 担当者 / 備考

【内部的に送信している情報(非公開・システム項目)】

グループID / 過去名刺 / 削除フラグ

※kintoneに登録する上で不要なフィールドでも削除してしまうとエラーになってしまいますので削除ではなく、グループで囲って非表示にするなどの対応をお願いいたします。

1.2 名寄せについて

システム内に重複して登録されている同一の顧客を、ひとつの正しいデータに統合・整理する作業のことです。

- 名寄せ条件：会社名と氏名が完全一致した場合に発動します。



※kintoneに用意している履歴

履歴								
名刺画像	名刺取得日	役職	住所	電話番号	携帯番号	担当者	備考	
	2026-04-24	技術チーフ	住所 愛知県名古屋市中村区名駅5-2-17 プログレス名駅10F	052-526-0001	070-5024-6228	小屋 友雅		

上記のように、同一人物の名刺データはkintoneの「関連レコード」として紐づいて表示されるため、これまでのやり取りや履歴をスムーズにご確認いただけます。

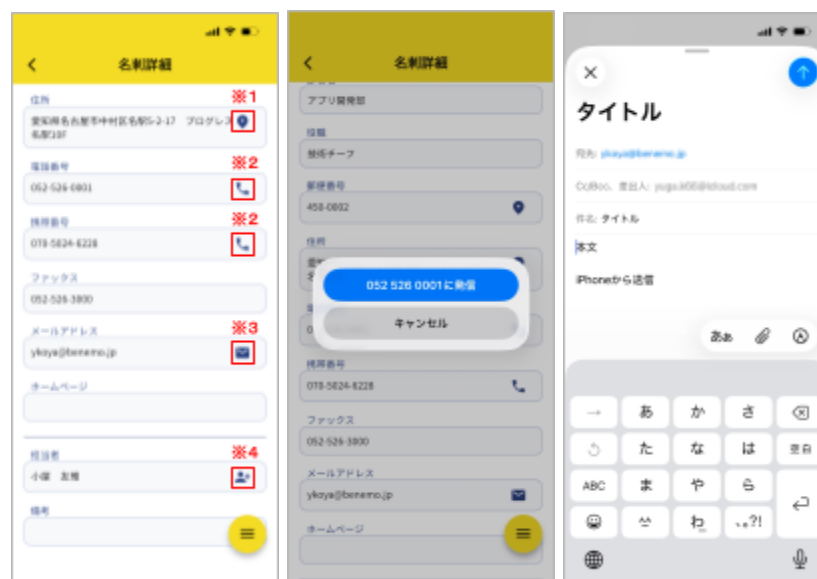
新しい名刺が追加された際は、常に「新規レコード」として最新情報が作成され、以前の名刺は「過去の履歴」としてシステム上に保管される仕組みです。

また、新しくレコードが作成される際も、過去の名刺に登録されていた「担当者」の情報は自動的に引き継がれます。再設定の手間なく、担当者情報を途切れることなく管理できますのでご安心ください。

2. 登録情報の活用アクション

詳細画面では、アイコンをタップするだけで様々な外部アプリと連携できます。

機能	操作内容
マップ連携※1	住所横のピンアイコンをタップ。Googleマップが起動し、目的地が表示されます。
電話発信※2	電話番号横の受話器アイコンをタップ。そのまま通話が可能です。
メール作成※3	メールアドレス横の手紙アイコンをタップ。メールが宛先入力済みで起動します。
担当者追加※4	担当者欄の「+」アイコンをタップ。自分をその名刺の担当として紐付けます。



3. 名刺データの管理メニュー

詳細画面の「≡」ボタンをタップすると、以下の管理メニューが表示されます。

- 編集：登録内容を修正・更新します。※編集で入力したデータもkintoneとリアルタイム同期になっております。
- 電話帳登録：名刺データをスマホ端末の連絡先へエクスポートします。
- 共有：他のアプリ(LINEやメッセージなど)にデータを送信します。
- 削除：一覧から削除されます※1



※1 一覧から削除について：

pewアプリでは名刺データを完全削除することではなく、「削除フラグ」をチェックする仕組みとなっております。

削除フラグとは、一言で申し上げますと、お客様の大切なデータを守るための安全装置のような仕組みです。アプリ上で削除ボタンを押していただいた際、システム内部ではデータを完全に消去してしまいうのではなく、対象のデータに「削除済み」という目印(フラグ)を付けております。これにより、お客様の画面や一覧からはデータが非表示になるため、ご利用上は削除されたのと同じ状態になります。

弊社がこのような仕組みを採用している最大の理由は、誤操作などによるデータ損失を防ぐためです。万が一、誤って必要なデータを消してしまった場合でも、システムの裏側にはデータがバックアップとして安全に保管されているため、いつでも元の状態に復元することが可能となっております。

まとめますと、「画面上は不要なものとして見えなくする一方で、データそのものは万が一のトラブルに備えて大切に保管しておく」という方法をとることで、お客様に安心してサービスをご利用いただけるように設計されております。

4. 検索・絞り込み機能

ホーム画面上部の検索バーを利用して、登録済みの名刺を素早く探し出せます。

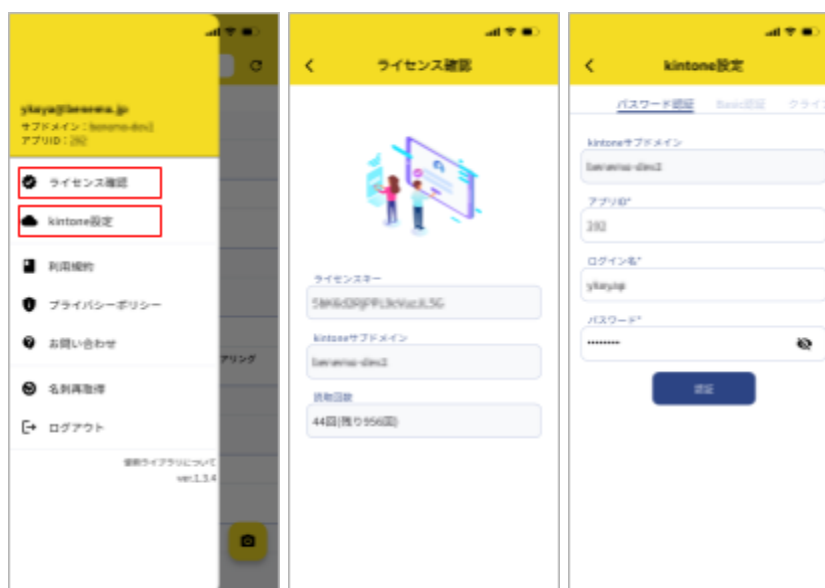
- キーワード検索: 氏名氏名カナ、会社名、会社名カナ、住所、電話番号、携帯番号、備考の検索が可能です。※あいまい検索も可能。
- 絞り込み: 「自分の名刺のみ表示」で自分が担当者の名刺のみを表示することができます。



5. システム設定とkintone連携

サイドメニュー(≡)から、アプリの動作環境をカスタマイズ・確認できます。

- **kintone**設定: データの保存先となるkintoneのサブドメインやアプリを変更したい場合はこちらから操作することで簡単に切り替えることができます。
- ライセンス確認: 現在ログインした情報は、データ読み取りの残回数を確認できます。
- 名刺再取得: kintone上の最新データをアプリに反映(同期)させます。



6. kintoneからの登録・編集

pewではkintoneで登録・編集してもリアルタイムでpew上も更新される機能です。

- 登録: kintoneのレコード追加より新規レコード追加
- 編集: kintoneのレコード編集より既存レコード編集

The image displays two screenshots of the kintone mobile application interface, specifically the '名刺管理(デモ用)' (Business Card Management Demo) screen. The top screenshot shows the initial state where a contact named '小堀 友雅 (キントーン登録)' is highlighted in the list on the right. The bottom screenshot shows the same screen after editing, with the '保存' (Save) button highlighted in the form area and the contact entry in the list also highlighted, indicating the update is reflected in real-time.

上記は、kintoneでの作業直後におけるpewアプリの画面です。kintoneで更新を行うだけで、即座にpewアプリへデータが反映されます。お客様での手動操作は一切不要です。

7. カスタムフィールド

カスタムフィールドとは、pew上に利用者が表示をしたい任意のフィールドを設定できること。

7.1 設定方法

1. kintoneの設定画面で、pewに追加したいフィールドを追加します。
※対応可能なフィールドタイプは「文字列 (1行)」もしくは「文字列 (複数行)」のみです。



2. 追加したフィールドの設定を開き、フィールド名は任意のもの、フィールドコードは必ず「**PEW_**」と設定します。
※「PEW_」が付いていないレコードは表示できません。

【注意事項】

現在のカスタムフィールド機能は「文字列 (1行)」「文字列 (複数行)」のみに対応しております。対応フィールドタイプ以外のフィールドを「必須」に設定するとエラーが発生し、名刺登録に失敗してしまいますのでおやめください。

7.2 利用方法

上記の設定を行うと、pew上にカスタムフィールドが表示されます。
登録時に名刺に付与したい必要情報を設定することで、より効率的で質の高い名刺管理が実現できます。

The screenshot shows a mobile application interface with a yellow header bar. The header contains a back arrow, the time '15:09', and a battery icon. Below the header, the title '名刺情報を編集' (Edit Business Card Information) is displayed. The form contains several input fields with labels in blue text: '電話番号' (Phone Number) with the value '052-526-0001', '携帯番号' (Mobile Number) with '070-5024-6228', 'ファックス' (Fax) with '052-526-3000', 'メールアドレス' (Email Address) with 'ykoya@benema.jp', and 'ホームページ' (Homepage). There is also a '備考' (Remarks) field. A red rectangle highlights the '知り合ったきっかけ' (How we met) field, which is currently empty. At the bottom of the form are two buttons: '戻る' (Back) and '更新' (Update).